



草津市立志津小学校 学校だより

—学校教育目標—

人にやさしく、自分を高め、みんなのために役立とう

～夢や志を育む学校～

くすのき



令和3年(2021年)9月1日

No.12

学びに「安全・安心」を ～今、学校でできること～

校長 中村 真理子

コロナ禍のために、現在、午前中は学校で授業、午後はオンライン授業という変則的な学習スタイルではありますが、子どもたちは新しい取組に刺激を受け、意欲的に学んでいるところです。「緊急事態宣言」の発令期間中であり、本校としては子どもたちの「安全・安心」に全力を注ぐとともに、子どもたちの学びを止めないように、今しなければならぬ教育活動で、何が最善であるかを考えながら、日々対応をしています。保護者の皆さんにも臨機応変にご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、緊急事態宣言が発出されたことから、本校のコロナ対策をまとめた『コロナに負けない志津っ子安全プラン2021』を先日8月26日に改定し、保護者の皆様にも配付させていただきました。しかしながら、このたび滋賀県教育委員会は、学校における「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準の地域の感染レベルを「レベル3」に引き上げました。このことを受け、草津市教育委員会より、8月30日付けで新しく教育活動の変更について指示がありましたので、お知らせいたします。

8月31日改定『コロナに負けない志津っ子安全プラン2021』



【変更点】

- 複数学級や学年が集まる集会的な行事や活動はしないこととする。
- 発熱等で体調不良の場合には、自宅で休養することを徹底するようにお願いします。また、同居の家族に風邪症状がみられる場合も、登校させないようにお願いします。
- 音楽科の授業での合唱や、管楽器演奏は実施しない。(オンライン授業の場合を除く)
- 体育科の授業で密集したり近距離で組み合ったり、接触したりする運動、また「向かい合っただけの発声が必要な活動」については実施しない。

※なお、今回の訂正版につきましては、印刷物を配付しません。8月31日改定版を、本校ホームページに掲載いたしましたので、ごらんください。

「城リンピック」(運動会)開催日変更のお知らせ 10/23(土)へ

「緊急事態宣言」の発令期間中においては、「複数学級や学年が集まる集会的な行事や活動」が実施できません。このことから、「城リンピック」に向けて、体育科における学年での合同練習等の時間を十分確保するために、10月2日(土)に予定しておりました「城リンピック」の日程を次のように変更します。

なお、10月20日(水)に予定しておりました学習参観日は中止いたします。

【変更後の日程】志津小学校「城リンピック」(運動会)⇒10月23日(土) 12:00頃下校予定

[予備日10月24日(日) 振替休業日10月25日(月)]

※感染状況により、再延期や開催方法の変更等の可能性もありますのでご了承ください。

【保護者の参観人数】各ご家庭1名

※2学年単位で競技・演技を行い、参観される保護者の方の入れ替えを行います。運動場内に集合する人数を抑え感染の防止を図るため、各ご家庭1名とさせていただきます。ご協力をお願いします。

市内小中学校講師:募集のお知らせ



草津市内の小中学校では講師を探しています。自薦、他薦は問いません。市内小中学校の勤務をお願いできる方の情報を本校までお知らせください。



家庭では

学校では

9月は、
「いじめ防止啓発
強化月間」です。

いじめを起こさない!
(未然防止)



いじめを見逃さない!
(早期発見)



いじめを解決する!
(早期対応・早期解決)

いじめが起きにくい学校に

- ◎ あいさつ…自分の思いを伝え合える
- ◎ いのちを大切にすることや、他者を思いやる気持ち
- ◎ 多様な考え方や感じ方を認め合える雰囲気づくり
- ◎ 自尊心を高める…一人ひとりに活躍の場
- ◎ 皆に居場所がある…安心できる学校・学級

いじめが疑われたら

- ◎ 複数の教職員による情報共有
- ◎ より注意深い観察
- ◎ 気になる子どもへの声かけ
- ◎ 関係しそうな子どもからの聴き取り など

いじめが起きてしまったら

- ◎ 適切かつ迅速な対応、チームでの組織対応
- ◎ 教育委員会など関係機関と連携した対応
- ◎ いじめた側・受けた側、双方の保護者との連携

子どもの対話がとても大切

- ◎ 顔を見ながらの対話、気持ちを言葉で表現
「今日学校どうだった?」「それは。うれしいね。」
「ちょっと悲しいね。」「心配なことがあったらなんでも言ってね。」

子どもを認めていますか?

- ◎ 子どもなりの意欲やがんばりを大切に
- ◎ 結果ではなく、過程をほめる

「あなたがいて助かる、いないと困る。」
「ありがとう。」
「がんばっていること、知ってるよ。」



いじめられているかもしれない…

- ◎ 「心配している」メッセージを伝える
「元気がないね。」「何か心配なことがあるの?」
「気がかりなことであるの?」

「あなたにも悪いところがあるからだ。」
「勘違いじゃない?気にしすぎだ。」
「いじめられているの?」と問いつめる。

- ◎ 感情を受け止め、ことばで伝える
「それはつらかったね。」「悔しいね。」
「よく話してくれたね。」

「あなたの味方だよ。」
「あなたを守る。」

- ◎ 解決に向け、学校と保護者とが力を合わせる
- ◎ 子どもの安全と安心を確保することを最優先する
- ◎ 子どもの気持ちに寄り添う
- ◎ 解決の後も、継続して見守っていくことが大切

まさかうちの子がいじめを…

- ◎ 「うちの子に限って」と決めつけず、事実確認
- ◎ 子どもの気持ちは受け止めるが、行為は否定する
- ◎ 「どうすればよいか、どうしていくか」を共に考える

- ・「いじめという行為は絶対に許されない」ことを伝える
- ・問題解決をとおして、大切なことを共に考えていくことで成長につなげていく

